

# 担当伊藤の このごろのもみじ市。

毎日三十五度以上の暑さに、茹で上がってしまいうような伊藤です。近頃は塩分チャージの干し梅を肌身離さず持ち歩いています。もみじ市まで約二ヶ月、その頃には気持ちのいい風が多摩川を吹き抜けているのかなあと思うと、秋が待ち遠しいですね。今年のもみじ市では、高旗さんとある出店者さんとのコラボレーションがあり、現在計画を練っている真つ最中だとか……！どちらも大好きな出店者さんなので、どんなコラボ企画が生まれるのかとっても楽しみです。毎日猛烈な暑さなので、みなさまも水分補給欠かさずに夏を満喫してください！

(伊藤)  
中面にもありますが北海道に行ってきた。札幌は二十度を下回っていて、本当に快適な環境でした。これから夏は北海道で仕事をして、お盆過ぎくらいに関東へ戻るとい生活もありかもしれないと考えている次第であります。伊藤さんはかなり忙しいそうなので、お体ご自愛ください。(高旗)

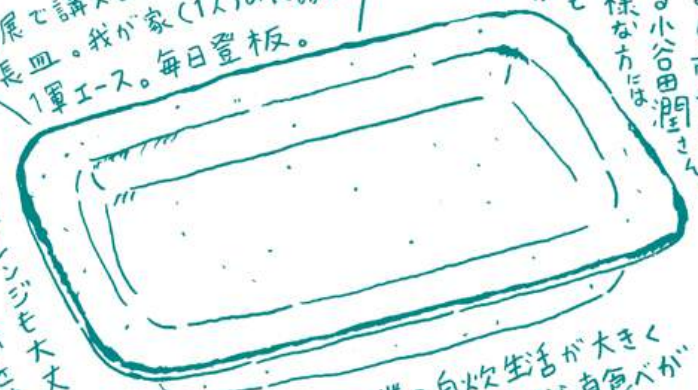
## お話し もみじ市作家さん 紹介のコーナー

第一回目のもみじ市から。出店されている小谷田潤さん。この新聞を読む様を方にはご紹介するまでも無いと思心しますが、大好きなのでぜひ機会にこの機会に紹介したい。



『小谷田潤さんの器』編。

個展で講入した長皿。我が家(1人)の食器の1軍エース。毎日登板。



細かなしじみは米。細かなしじみは米。細かなしじみは米。

このお皿の登場で、僕の自炊生活が大きく文化的になりました。(フライパンから直飯ベがなくなった) 行儀よくなりました。テールチー



マグカップ → この新聞が1色で、色を伝えられないのが残念ですが、しかもステキな色をしています。僕が持っているのは淡青?色。(参考DIC-N856? という感じ。)

第2号  
2018年8月

小谷田さんのマグカップは、取手がとても持ちやすいです。太め。平らめ。

## よかん

先月仕事で小谷田さんをモデルにした人物を抽いたら、「この人は縄文人、ほい」ということになりました。縄文人ほい



お茶碗。これでご飯を食べると、公員しくも、いもん食べてるな、という気が持たになります。

例え。米にしょうゆをかけただけの飯であつても。

今年の目標は「くつろぎ」です。

今年の出店イメージ図です。毎年あまり変化がありませんが、今年はコラボ企画もあるので、ちょっと変わった事もできそうです。



今年もタープ2台体制です。新しいタープほしい。

何かしらフックジョックはやりたいです。

## ざくづけ

基本的に毎日憂鬱ではあるのですが、近頃絵を描くことに鬱々としており、なぜこの仕事を続けているのか分からなくなってきたております。そういうのもあって、全体的な進捗が大きく遅れております。九月にはイラストレーションフェスティバルというイベントもあり、そちらの準備も遅々として進まず、とてもまずい状況下にあります。今年のもみじ市はやおらコラボ企画が立ち上がり、その企画で色々物を作る予定なのですが、それはすこく楽しく作っております。鬱々とした気持ちになるものと楽しくできる物の違いは互いの丁度良い理解度にあるのでは最近考えているのですが、この話は紙面が足りないのでもこまでです。コラボ企画楽しみにしてください。

二〇一八年八月 高旗将雄

※紹介した器は僕が個人的に持っているもので、今回のもみじ市で販売されるとは限りません。

# 北海道四泊五日旅行記

七月。急にもみじ市主催の手紙社さんから出版者同士のコロナ企画発表されました。僕みたいな有名でも無い日陰者とやっつけてくれるような人がいるのか?と思いましたが、この人なら大丈夫かもしれない...という方にお伺いを立ててみたところ快諾してくださり、僕は打ち合わせのために北海道は富良野に向かったのであります。

7月22日。成田空港からジュストスターで新千歳へ。2時間かからない。



JR快速エクスポートで札幌へ。札幌着。8時ごろの飛行機だと午前中に着く。涼しく。日取方向!!



JR北海道は全線赤字。がんばれ。

夜、パフェを食べに行く。男一人で。



7月23日

あさひやま動物園に行くため特急ライラックで旭川へ。駅から動物園はバス。超有名動物園だけどみんなものかな?と思っておりましたがさすが最高でした。



「あべ弘士」による看板がとも良くて一気にファンになりました。職員の方の手書きの看板も読みごたえあって面白いです。



あちこちにありました。



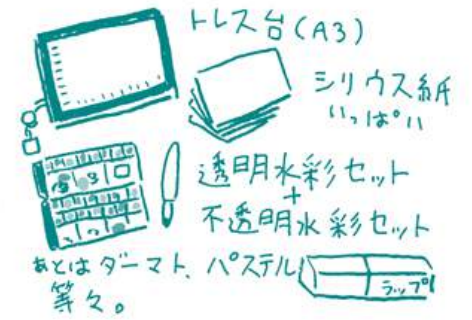
まずは地下鉄ですすきのへ。あまり人に教えたくなけれど



すすきのの「花まる」のランチの海鮮丼が安くおもしろい。量が多くて最高なのです。け、こうすりてるし。三種の丼ぶり汁物がついて千円しない。近所に住みたい!!

出発前日、千葉で似顔絵を描いたので、リュックの中身が絵の道具でいいです。北海道でも絵を描くつもりだったので、いつも持ち歩かない物も。

昼食後



北海道博物館へ。特別展の「松浦武四郎」の展示がどうしても見たかったのです。



北海道史に興味がある人にはとてもオススメですが、そうでもない人にはなかなかすめづら展示ではありません。

木彫りも無い北海道も関係ないけど、ドイツの真鍮製のくま。カルトラ怪獣みたい。



旭川には骨董屋。屋さんが何軒もあり、今回の北海道は木彫りの熊が目的では無いのですが、つい探してしまつた。ボトルを抱えるタイフのくま。しかしサイズの何を抱えていたのかわかりません。



15cmほど。

かなり古そうなくま。ガラス目。旭川の作家松井梅太郎。ほいけ。たぶん違う。作家名で買っているわけじゃないけど、地元のものがある嬉しい。



5cmくらい



(でも割れるから安かった。)

流石北海道。いい熊がたくさんありました。しかし有名作家の作品は価格が高騰しております。軽くブーム来そうです。

旭川の次は大目的の富良野へ。次回へ続きます。